

明治大学博物館

創立は前近代における拷問・刑罰具を復元展示した刑事博物館の設立（1929年）に遡ります。商学部教員による新素材や貿易商品のサンプル収集に始まる商品博物館（1951年～）、文学部考古学研究室による発掘調査の成果を収めた考古学博物館（1952年～）の3館が統合されて2004年に新装開館しました。商品部門は伝統的工芸品の原材料・製造工程、技法・意匠の種別、刑事部門は法令文書、高札、江戸時代の捕者具、考古部門は旧石器～古墳時代の石器、土器、埴輪、金属器等を展示。特別展示室では、博物館をはじめ大学が所蔵する様々な学術資源や研究プロジェクトの研究成果を公開する展覧会が年間を通して開催されています。代表的な収蔵品に、群馬県岩宿遺跡、栃木県出流原遺跡、埼玉県砂川遺跡、神奈川県夏島貝塚の出土遺物、前場幸治瓦コレクション、名和弓雄捕者道具コレクション、譜代大名内藤家文書、高札コレクション、時田昌瑞ことわざコレクションがあります。

【入館料】無料 【電話】03-3296-4448

【開館時間】10:00～17:00（入館は16:30まで）

会期中無休 ※日・祝日、大学の定める休日は事務局が閉室となり、お電話の対応はできません。あらかじめご了承ください。

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
明治大学アカデミーコモン地階

JR中央線・総武線 御茶ノ水駅 / 御茶ノ水横口 徒歩5分

東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅 徒歩8分

東京メトロ千代田線新御茶ノ水駅 / B1出口 徒歩8分

都営新線・三田線・東京メトロ半蔵門線 神保町駅 / A5出口 徒歩10分



南山大学人類学博物館

南山大学人類学博物館の歴史は、1949年に南山大学附属人類学民族学研究所（現人類学研究所）の陳列室として併設されたのが始まりです。その後、大学博物館として研究と教育を軸に運営され、2013年には「For Everyone's Curiosity—全ての人の好奇心のために—」という理念のもと、ユニバーサル・ミュージアムを目指してリニューアルされました。収蔵資料は考古資料、民族誌資料、現代生活史資料に大別されます。考古資料には、G・グロート神父による縄文時代資料、J・マリンガー神父によるヨーロッパ旧石器時代の石器、本大学教員による愛知県内の遺跡の出土品があります。民族誌資料は、南山大学とアウフェンアンガー神父の調査によるバブアニューギニアの資料、上智大学の調査団によるタイ北部山地民の資料と埼玉県鶴ヶ島市のオセアニア資料（通称今泉コレクション）が寄贈されています。現代生活史資料は、昭和時代の家電製品などがあります。

【入館料】無料 【電話】052-832-3147

【開館時間】月曜～土曜 10:00～16:30

【休館日】日・祝日、大学の事務休日、毎月最終水曜13時以降、大学入試期間

〒466-8673 名古屋市中区山王町18 南山大学名古屋キャンパスR棟地階

地下鉄名城線「八事日赤」駅1番出口より徒歩約8分

地下鉄鶴舞線「いりなか」駅1番出口より徒歩約15分



明治大学会場



交錯する視線

ギャラリートーク「西江雅之の『歩き方』講座」 参加費無料・申込不要

日時：10月8日（土）15:00～16:00 講師：鈴木智子（南山大学人類学博物館学芸員）

会場：明治大学博物館 【電話】03-3296-4448 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学アカデミーコモン地階

— 文化人類学者 西江雅之の「歩き方」 —

2016年度 明治大学博物館・南山大学人類学博物館交流事業

明治大学

2016 10.1 SAT

南山大学

11.6 SUN

収蔵資料交換展示

はにわのまつり

— 玉里舟塚古墳の埴輪の世界 —



ギャラリートーク「よみがえる埴輪のまつり-茨城県玉里舟塚古墳の埴輪群像」 参加費無料・申込不要

日時：10月22日（土）15:15～16:15 講師：忽那敬三（明治大学博物館学芸員）

会場：南山大学人類学博物館 【電話】052-832-3147

〒466-8673 名古屋市中区山王町18 南山大学名古屋キャンパスR棟地階

南山大学会場